



84112-XMEB-K0S0 CIVIC TYPE-R REAR WING

取付・取扱説明書

この度は、無限製品をお買い上げ頂きありがとうございます。

以下の注意点を正しくご理解の上、お取り付け下さいますようお願い申し上げます。

取り付け後は、本書を必ずお客様にお渡し下さい。

ご注意

1. 開梱後は、ただちに梱包内容（構成部品表を参照）の不足や破損の無いことを確認して下さい。
2. 取り付け前に取り付け車両の型式の確認を行って下さい。

【適合車種】 C I V I C T Y P E - R D B A - F K 2

【色記号】 本製品は未塗装品です。車両色（ホンダ色記号）は、サービスインフォメーションプレートで確認して下さい。

3. 純正パーツの取り付け・取り外しは、サービスマニュアルに従って、作業を行って下さい。
4. 本製品の加工、組み付け不良、誤使用による不具合・事故等については、弊社は一切責任を負いませんのでご了承下さい。

ご不明な点がございましたら下記までご連絡下さい。

〒351-8586 埼玉県朝霞市膝折町2-15-11

株式会社 M-T E C 商品事業部 国内販売課

【営業時間10:00~17:00（土日・祝日・弊社指定定休日を除く）】

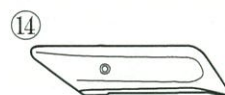
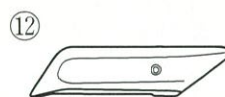
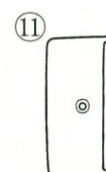
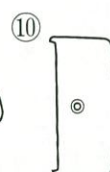
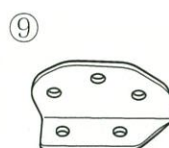
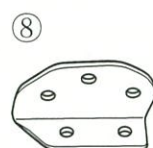
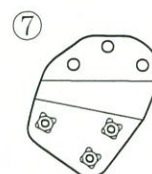
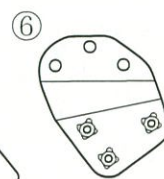
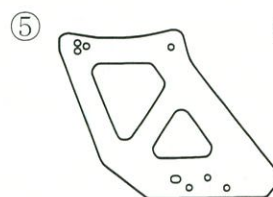
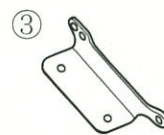
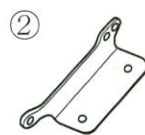
TEL. 048-462-3131 FAX. 048-462-3121

お客様へ

1. リア ウイングが事故や接触等により破損・変形した場合は、直ちに修復するか取り外してください。そのままの走行は、事故発生の原因になる恐れがあり、大変危険です。
2. 自動洗車機での洗車は避けて下さい。リア ウイングに無理な力が加わり、破損の原因となることがあります。
3. 定期的にボルト・ナット類のゆるみ、ガタ等を点検し、取り付け状態を確認してください。

【構成部品表】

No.	PARTS NAME.	QTY.
①	リア ウイング	1
②	ウイング ブラケット R	1
③	ウイング ブラケット L	1
④	アッパーカバー ブラケット	2
⑤	ウイング ステア	2
⑥	ウイング ステア ブラケット R	1
⑦	ウイング ステア ブラケット L	1
⑧	L字ステア R	1
⑨	L字ステア L	1
⑩	アッパーカバー R	1
⑪	アッパーカバー L	1
⑫	ロアカバー インナー R	1
⑬	ロアカバー アウター R	1
⑭	ロアカバー インナー L	1
⑮	ロアカバー アウター L	1
⑯	アプセットボルト	4
⑰	低頭六角ボルト	4
⑱	キャップナット	4
⑲	ボタンボルト	10
⑳	フランジナット	10
㉑	平ワッシャー	20
㉒	皿ボルト	2
㉓	スピードナット	2
㉔	両面テープ	1
㉕	キャップボルト	2
㉖	カラー 短	2
㉗	カラー 長	4
㉘	ステッカー	2
㉙	型紙	1



【必要工具】

- ・六角レンチ ・スパナ 10mm ・ラチェットレンチ 8mm、10mm ・水性ペン
- ・ドリル 3mm、6.5mm ・キリ ・トルクレンチ ・イソプロピルアルコール
- ・ウェス

FRPゲルコート仕上げ製品の特性及び塗装作業の注意事項

●FRPゲルコート仕上げ製品の特性

FRP製ゲルコート仕上げの商品は複雑な形状を製造するのに適したハンドメイドで製造した商品です。そのためPPE、ABS樹脂製塗装済み商品とは取扱いが異なります。

ハンドメイド製造品のため、車両、商品の個体差により、塗装前にフィッティング確認、取付穴などの修正及び、製品表面の面出しや製法上発生するキズなどの修正等の下地処理が必要となります。予めご了承ください。

○塗装作業の注意事項

下記の点にご注意ください。

1. 塗装作業前に必ず車両への仮付けを行い、無理なく取り付けができることを確認して下さい。
取付穴および車体部品とのフィッティングの調整を行って下さい。
車両個体・製品個体差等で修正が必要になる場合があります。
2. 製造工程上、製品表面にヤスリ跡、合わせ面の補修、修正跡、ゲルコート表面の細かい凸凹があります。本塗装前に必ず下地処理を行って下さい。
3. ゲルコート仕上げ状態のままのご使用は出来ません。
製品を良く確認の上、必ず全面にサーフェーサー（カーボン部のクリア塗装仕上げ部は除く）、パテ（カーボン部のクリア塗装仕上げ部は除く）、耐水ペーパーによる面出し作業、足付け作業などの下地処理を行った上で、本塗装を行って下さい。特に、割型面部はピンホールが発生し易いので、必要に応じてパテ修正・面出し等の下地処理を行って下さい。

*なお、FRPゲルコート製品はその製法上、ABS、PPE樹脂製塗装済み商品と同等の面品質が出ない場合があります。予めご了承ください。

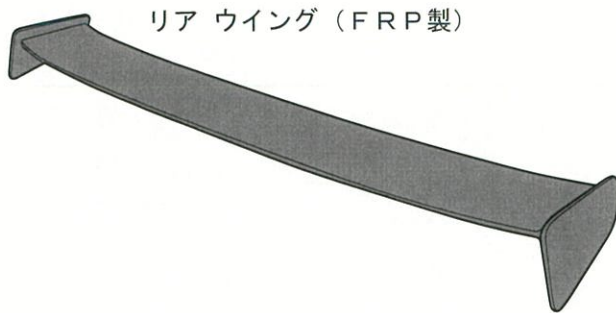
4. 乾燥は、常温乾燥をお勧めします。強制乾燥での焼き付け仕上げ温度の上限は50℃です。
FRP製品を50℃以上に加熱すると変形する場合がありますので、ご注意下さい。
5. その他につきましては、塗料メーカーの取扱説明書に従って、有機溶剤中毒および引火事故等の危険防止に努め、作業を行って下さい。

I. 塗装作業

リア ウイング、ロア カバー インナー（L/R）、ロア カバー アウター（L/R）、
アッパーカバー（L/R）の塗装

塗装推奨：ベルリナブラック（NH547）【7分ツヤ】

注意：ウレタン製品は、必ず常温で乾燥させること



リア ウイング（FRP製）

ロア カバー インナー
（ウレタン製）



ロア カバー アウター
（ウレタン製）



アッパーカバー
（ウレタン製）



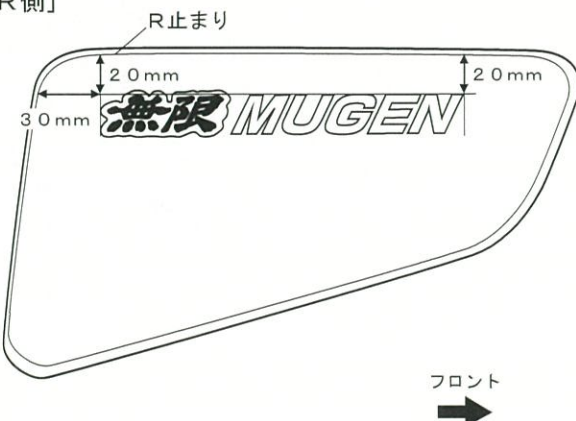
※L側も同様

ステッカーの貼付け作業 〔推奨貼付け位置〕

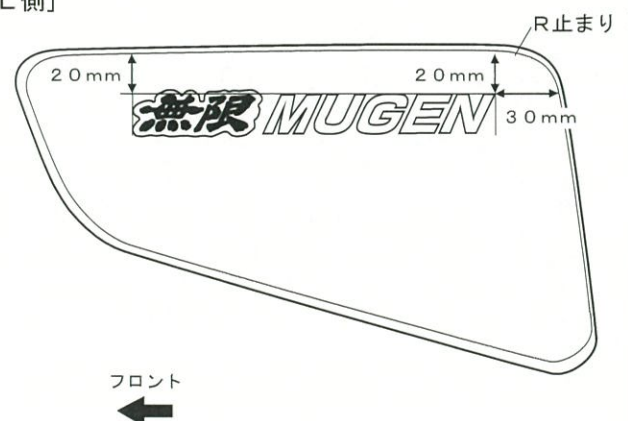
塗装後、下図寸法で計測し、ステッカーをリア ウイング左右側面に貼付ける。

※貼付け部は脱脂洗浄すること。

〔R側〕



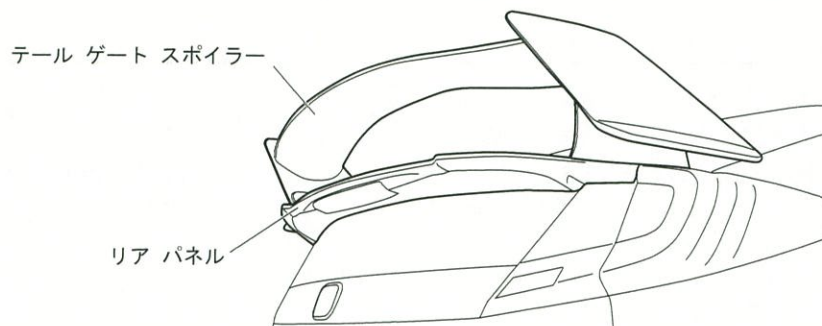
〔L側〕



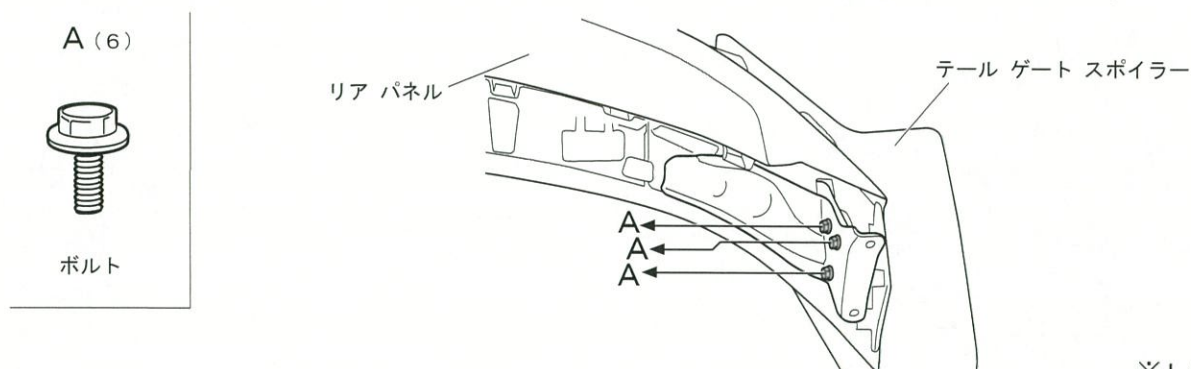
Ⅱ. 取付準備

- 《注意》・リア ウイングおよび車体に傷を付けないように注意して作業を行うこと。
・作業は他の人に保持してもらいながら行うこと。
・作業は左右同様にを行うこと。
・両面テープの接着不良を防ぐ為、取付け後、最低1日以上は水がかからないようにすること

①車両からテール ゲート スポイラー A s s yを外す。(サービスマニュアル参照)

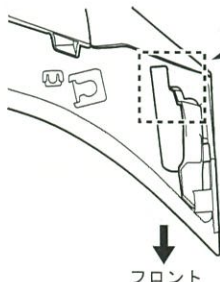


②リア パネルから大型リア スポイラーを外す。(サービスマニュアル参照)
その際に取外したボルト (A) は再利用する為、紛失や破損に注意すること。

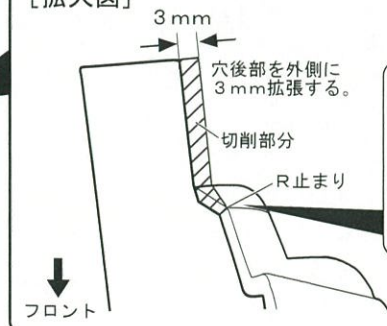


③リア パネルから左右のテール ゲート スポイラー ステアを外し、リア パネルの下図斜線部をヤスリ等で削り拡張する。

[リア パネル裏面]



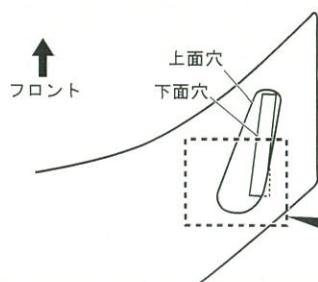
[拡大図]



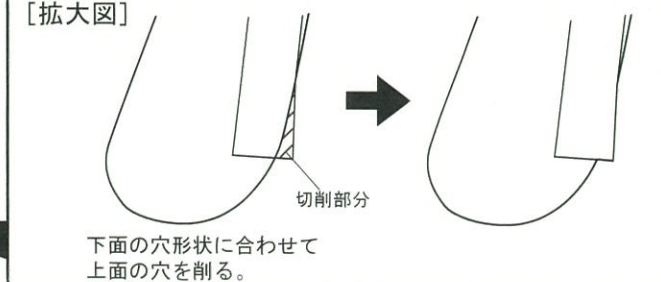
[側面図]



[リア パネル上面]



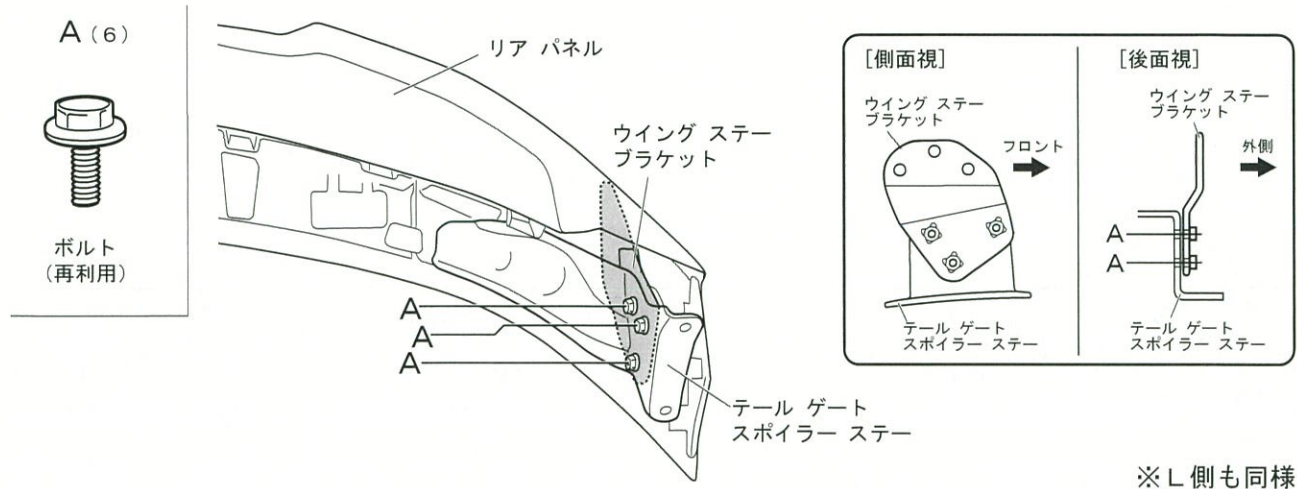
[拡大図]



※L側も同様

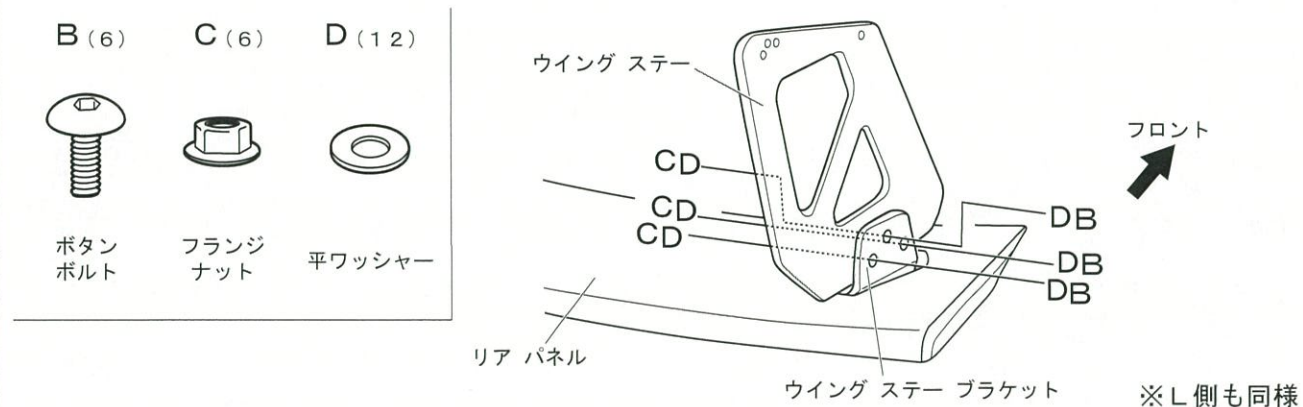
④リア パネルに左右のテール ゲート スポイラー ステアを取付ける。

⑤リア パネル左右にウイング ステア ブラケットをボルト（A再利用）で仮止めする。



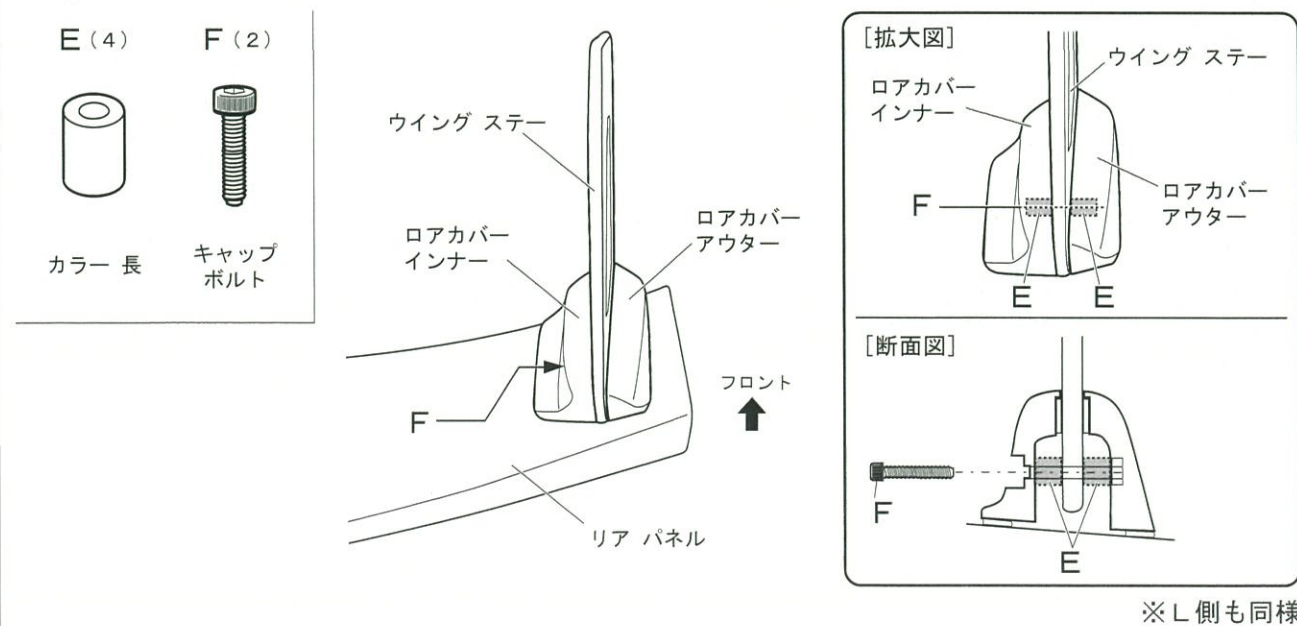
※L側も同様

⑥ウイング ステー ブラケットにウイング ステーをボタンボルト (B)、フランジナット (C)、平ワッシャー (D) で仮止めする。



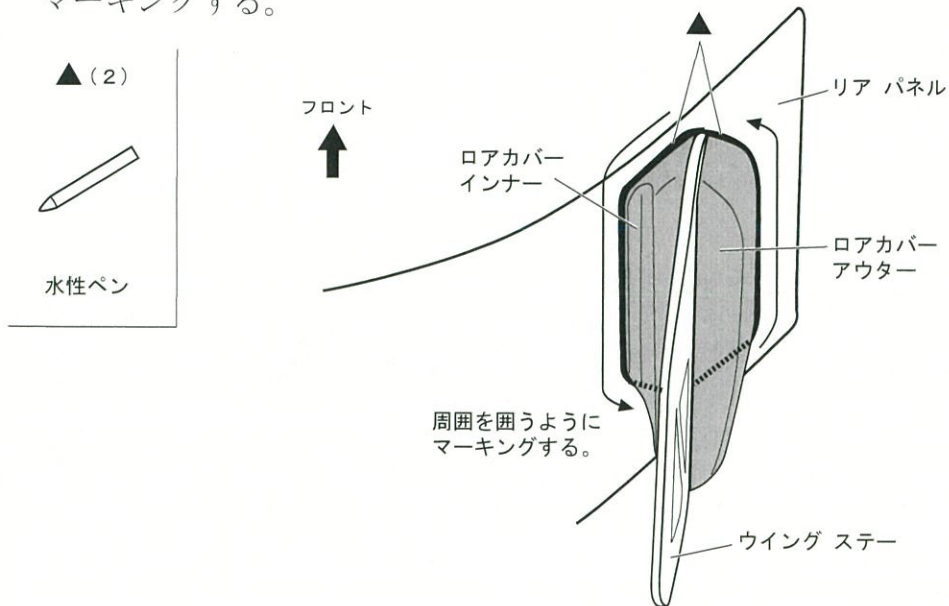
※L側も同様

⑦下図のようにロアカバー インナーおよびロアカバー アウターをウイングステー下方側面に仮当てし、間にカラー 長 (E) 入れてキャップボルト (F) で仮止めする。



※L側も同様

- ⑧ロアカバー インナー、ロアカバー アウターの周囲を囲うようにリア パネルに水性ペンでマーキングする。

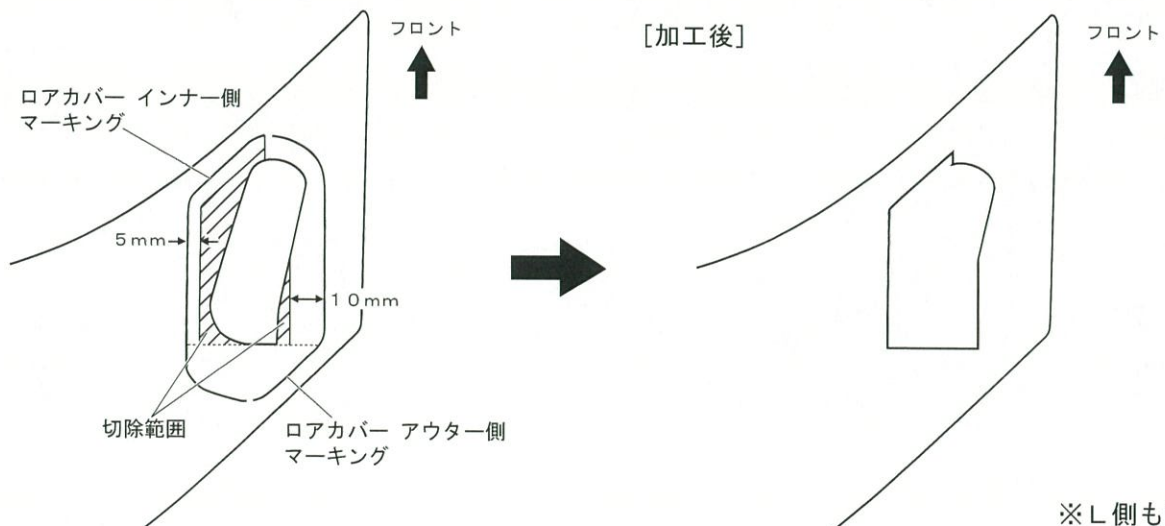


※L側も同様

- ⑨仮止めしたロアカバー インナー、ロアカバー アウター、ウイング ステーを取外し、リア パネルからテール ゲート スポイラー ステーを取外す。

※ウイング ステー ブラケットはテール ゲート スポイラー ステーに仮止めした状態にしておく。

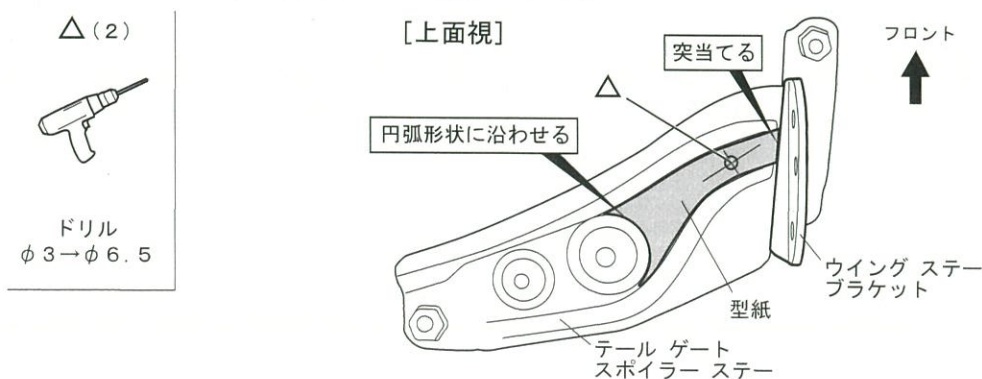
- ⑩リアパネルの下図斜線部を切除加工する。加工後、周囲のバリを除去しマーキングをイソプロピルアルコールで落とす。



※L側も同様

- ⑪型紙を使用し、テール ゲート スポイラー ステーにφ6.5の穴を片側1カ所開ける。

※穴開け後は、周囲のバリを除去する。



※L側も同様

- ⑫ テール ゲート スポイラー ステアにL字ステアをボタンボルト (B)、フランジナット (C)、カラー 短 (G) で仮止める。

B (2)

C (2)

[上面視]



ボタン
ボルト



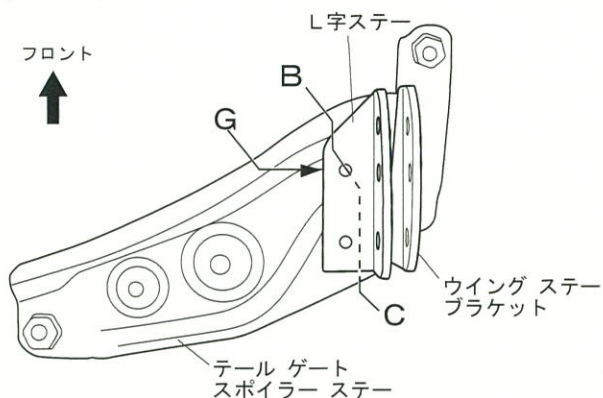
フランジ
ナット

G (2)

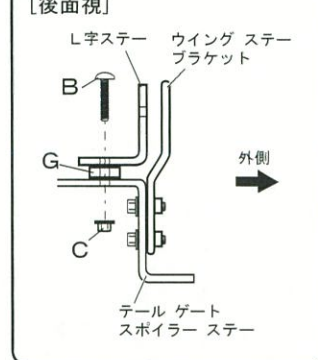


カラー 短

フロント
↑



[後面視]



※ L側も同様

- ⑬ ウイング ステア をボタンボルト (B)、フランジナット (C)、平ワッシャー (D) で取付け、L字ステア後方の穴に合わせてキリで穴開け位置をマーキングする。

B (6)

C (6)

[上面視]



ボタン
ボルト



フランジ
ナット

D (12)

◆ (2)

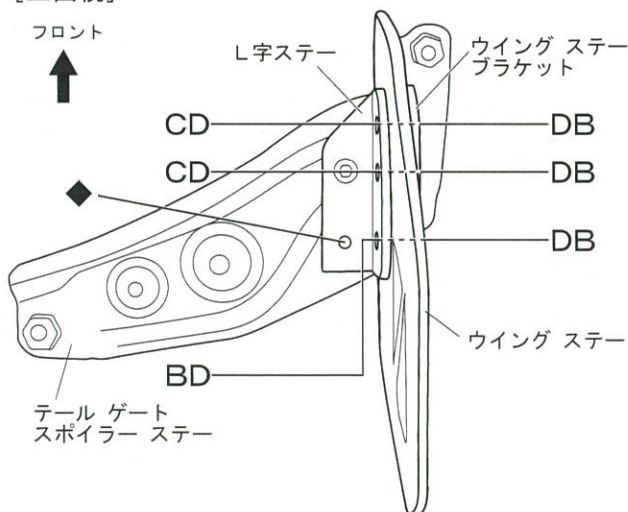


平ワッシャー

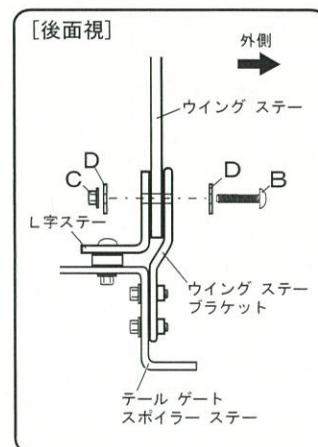


キリ

フロント
↑



[後面視]



※ L側も同様

- ⑭ ウイング ステア、ウイング ステア ブラケット、L字ステアを取外し、テール ゲート スポイラー ステアのマーキング位置にφ 6.5の穴を片側1カ所開ける。

※穴開け後は、周囲のバリを除去する。

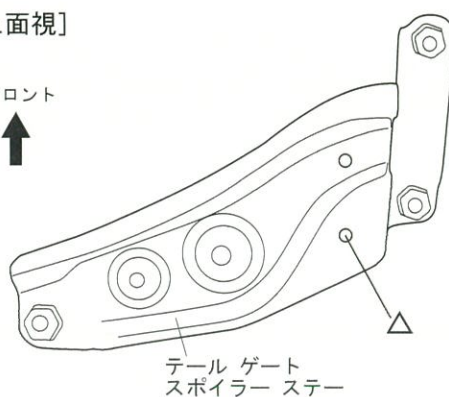
△ (2)

[上面視]



ドリル
φ 3 → φ 6.5

フロント
↑



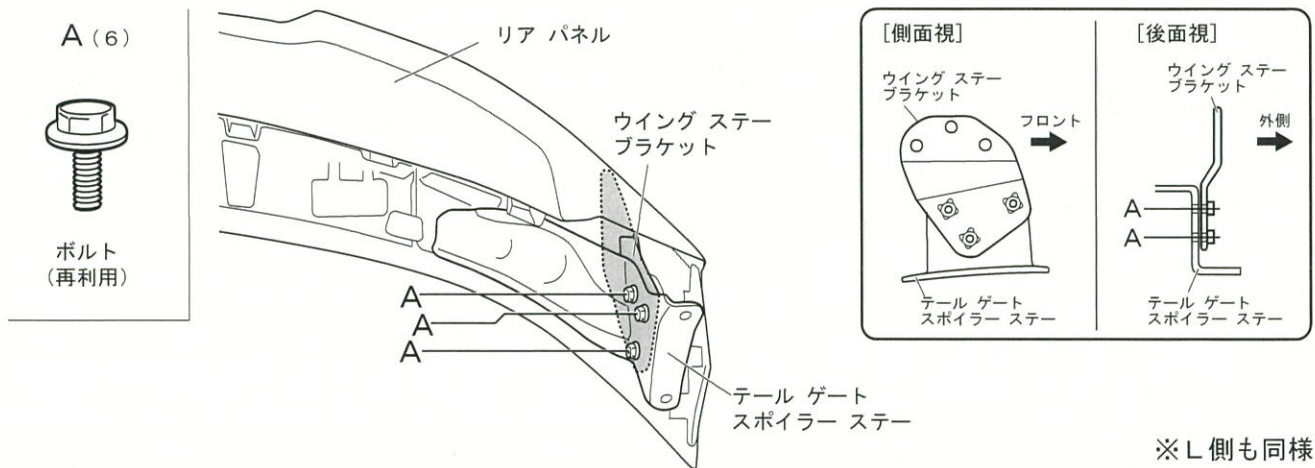
※ L側も同様

Ⅲ. リア ウイングの取付

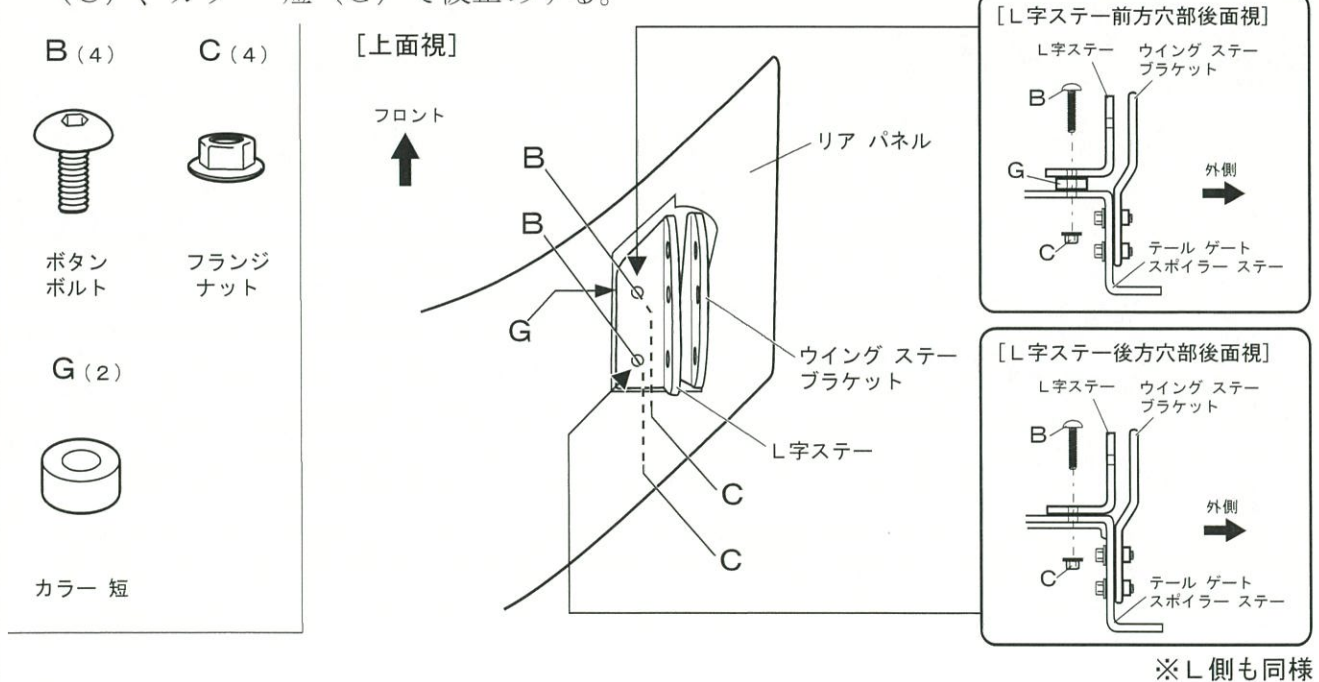
《注意》・リア ウイングおよび車体に傷を付けないように注意して作業を行うこと。

- ・作業は他の人に保持してもらいながら行うこと。
- ・作業は左右同様にを行うこと。
- ・両面テープの接着不良を防ぐ為、取付け後、最低1日以上は水がかからないようにすること

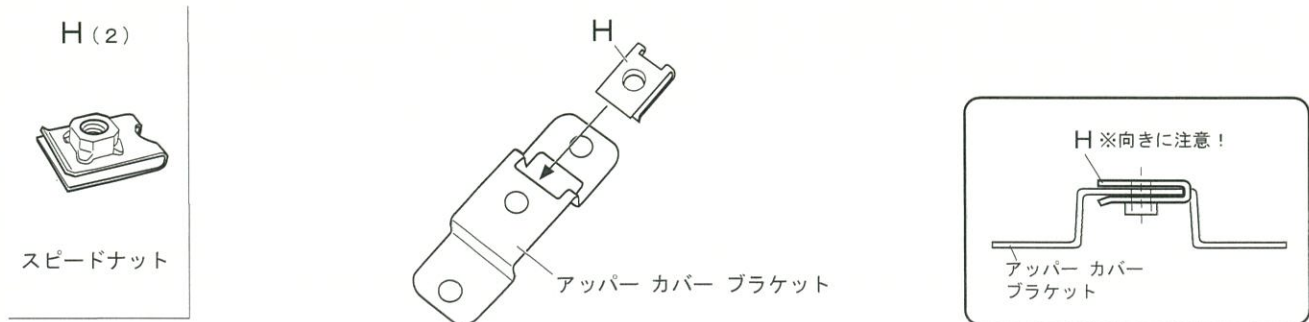
①リア パネルにテール ゲート スポイラー ステアを取付け、ウイング ステア ブラケットをボルト (A再利用) で仮止めする。



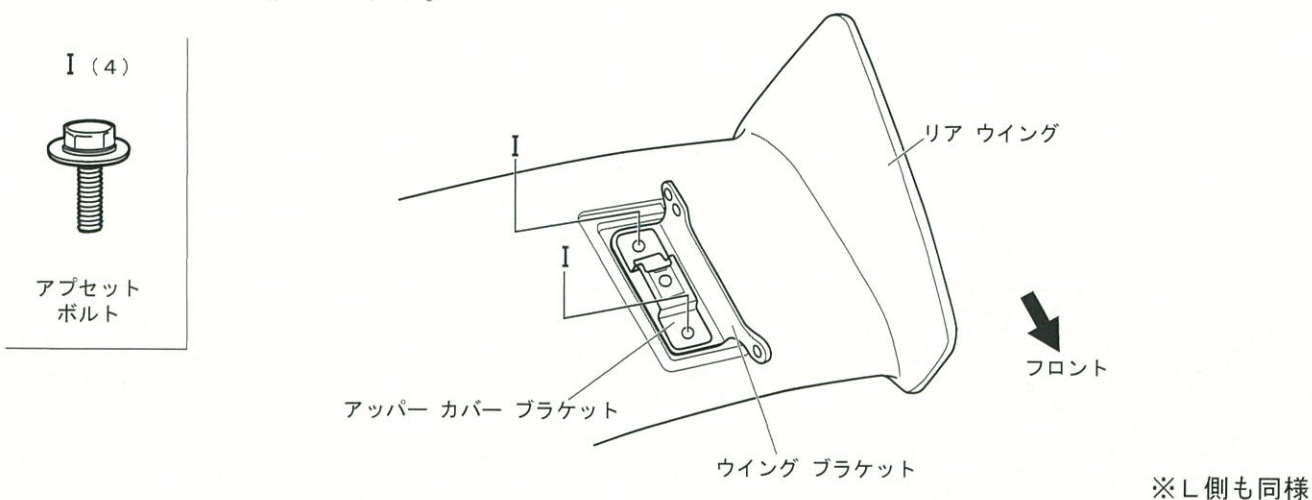
②テール ゲート スポイラー ステアにL字ステアをボタンボルト (B)、フランジナット (C)、カラー短 (G) で仮止めする。



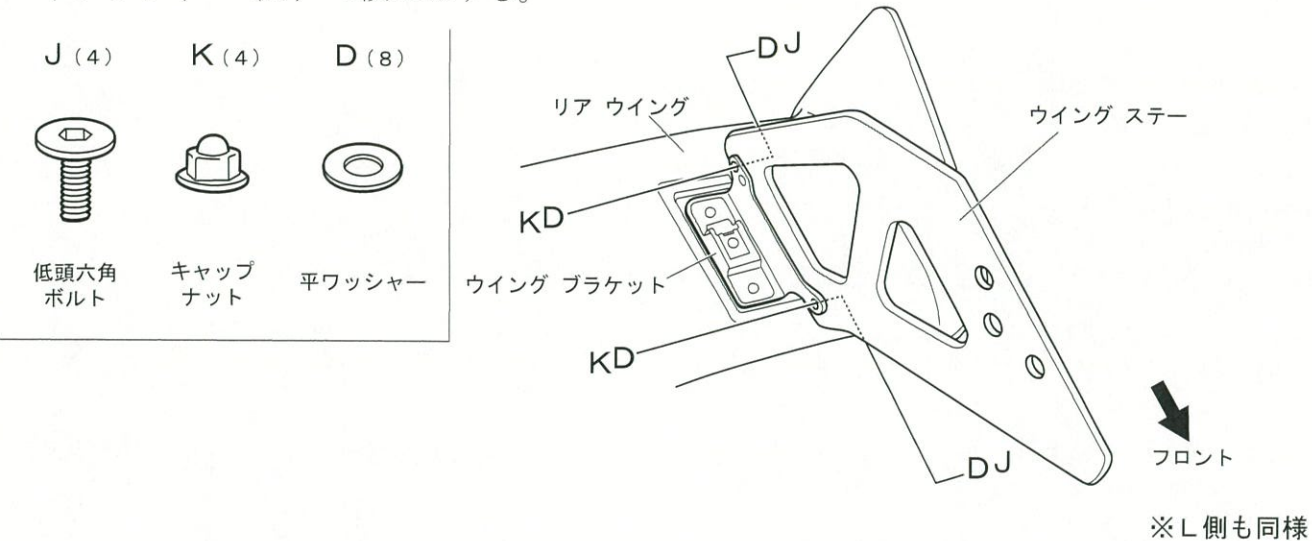
③アッパーカバー ブラケットにスピードナット (H) を取付ける。(2組作成)



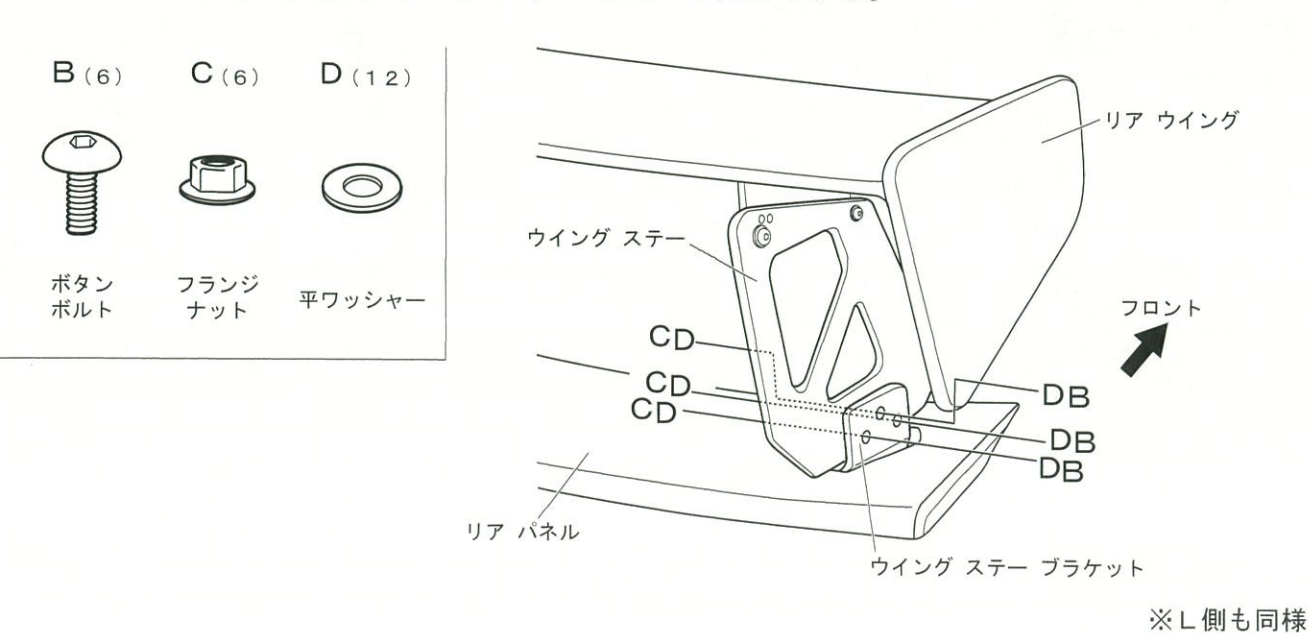
- ④リア ウイング左右にウイング ブラケット、アッパーカバー ブラケットをアプセット ボルト（I）で仮止めする。



- ⑤ウイング ブラケットにウイング ステアを低頭六角ボルト（J）、キャップナット（K）、平ワッシャー（D）で仮止めする。



- ⑥L字ステー、ウイング ステア ブラケットとウイング ステアをボタンボルト（B）、フランジナット（C）、平ワッシャー（D）で仮止めする。



- ⑦ボルト（A）を本締めし、各部の取付けバランスおよびクリアランス等を確認しながら
アプセットボルト（I）、低頭六角ボルト（J）、ボタンボルト（B）を緩まない程度に
仮締めする。

ボルト（A）
締付けトルク
9.3 N.m
(0.95 kgf.m)

- ⑧リア ウイングを取付けたリア パネルを車両に取付ける。（サービスマニュアル参照）

- ⑨車両装着状態で各締結部の歪み等を解消する為、アプセットボルト（I）、低頭六角
ボルト（J）、ボタンボルト（B）を一旦緩め、取付け状態を調整してから本締めする。

アプセットボルト（I）
締付けトルク
9.3 N.m
(0.95 kgf.m)

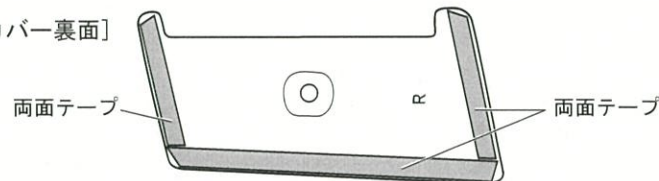
低頭ボルト（J）
締付けトルク
9.3 N.m
(0.95 kgf.m)

ボタンボルト（B）
締付けトルク
9.3 N.m
(0.95 kgf.m)

- ⑩下図を参照し、アッパーカバーの裏面に両面テープを貼付ける。

※貼付け面をイソプロピールアルコールで脱脂洗浄すること。また、離型紙は全て剥が
しておくこと。

〔アッパーカバー裏面〕



※L側も同様

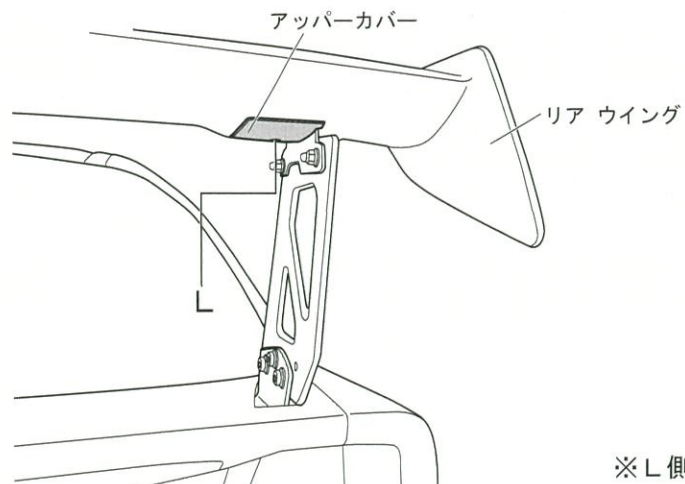
- ⑪リア ウイング下面左右に皿ボルト（L）でアッパーカバーを取付け、両面テープ貼付
け部を圧着する。

L (2)



皿ボルト

皿ボルト（L）
締付けトルク
5.4 N.m
(0.55 kgf.m)



※L側も同様

- ⑫ロアカバー インナー、ロアカバー アウターの下図斜線部をイソプロピルアルコールで脱脂洗浄する。

[ロアカバー インナー裏面]

[ロアカバー アウター裏面]



[ロアカバー インナー下面]

[ロアカバー アウター下面]

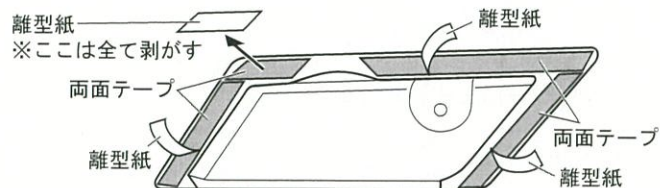
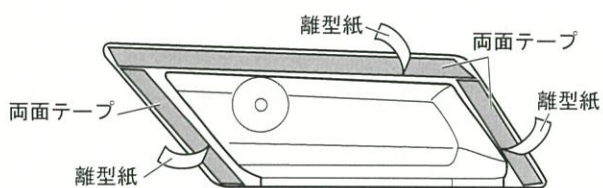


※L側も同様

- ⑬下図を参照し、ロアカバー インナー、ロアカバー アウターの裏面および下面に両面テープを貼付け、離型紙を一部めくり出しておく。

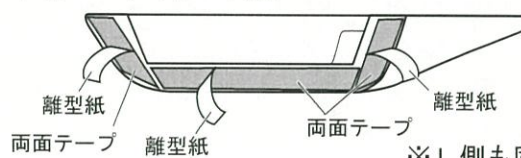
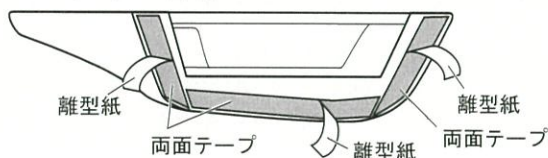
[ロアカバー インナー裏面]

[ロアカバー アウター裏面]



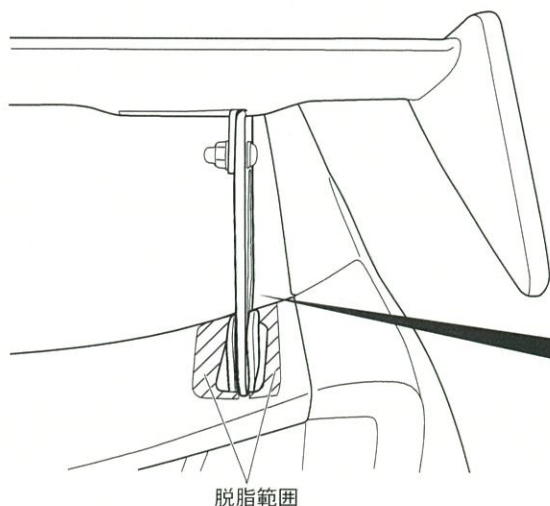
[ロアカバー インナー下面]

[ロアカバー アウター下面]



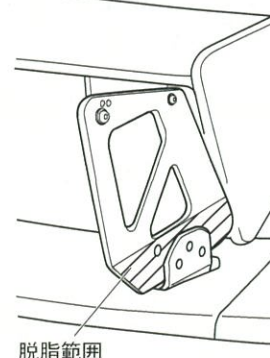
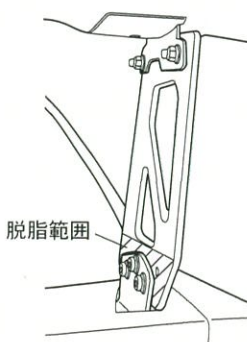
※L側も同様

- ⑭リア パネル、ウイング ステアの下図斜線部をイソプロピルアルコールで脱脂洗浄する。



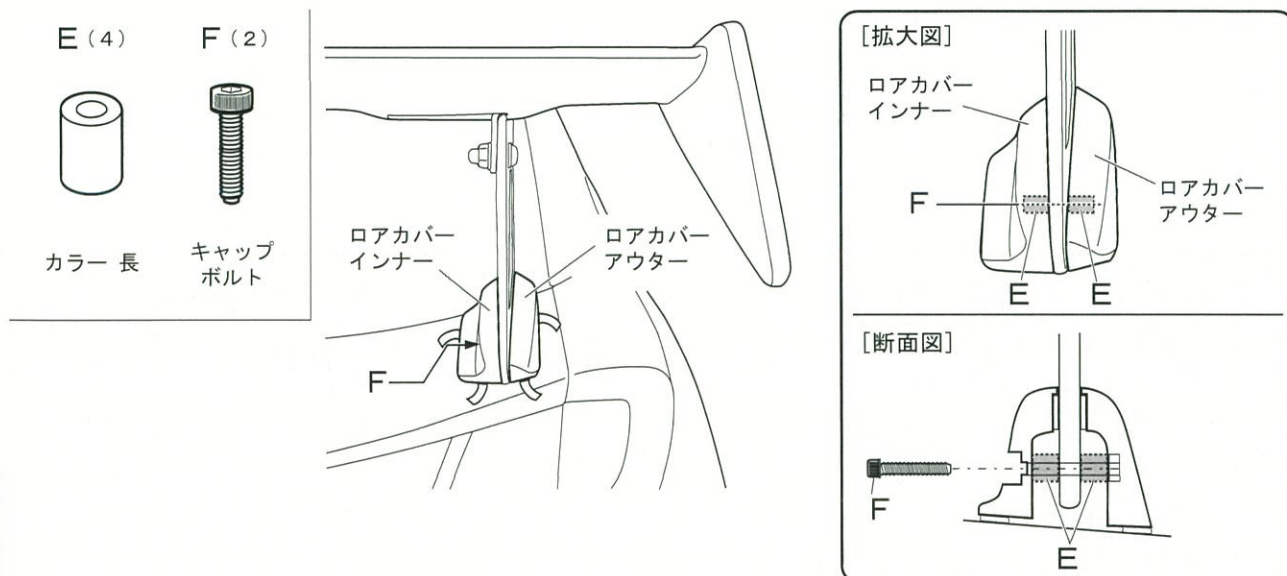
[ウイング ステア内側面]

[ウイング ステア外側面]



※L側も同様

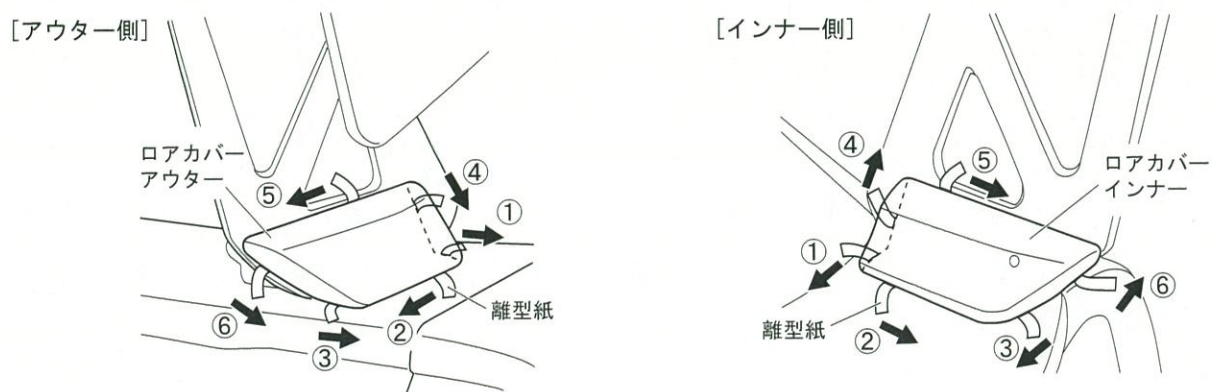
- ⑮下図のようにロアカバー インナーおよびロアカバー アウターをウイングステー下方側面に仮当てし、間にカラー 長 (E) 入れてキャップボルト (F) で仮止めする。



※ L 側も同様

- ⑯取付け位置を調整しながら下図の順番に従い両面テープの離型紙を引抜くように剥がして圧着する。

注 意：ロアカバー アウターを先に固定してからロアカバー インナーを固定する。また、離型紙は下面→側面の順に剥がすこと

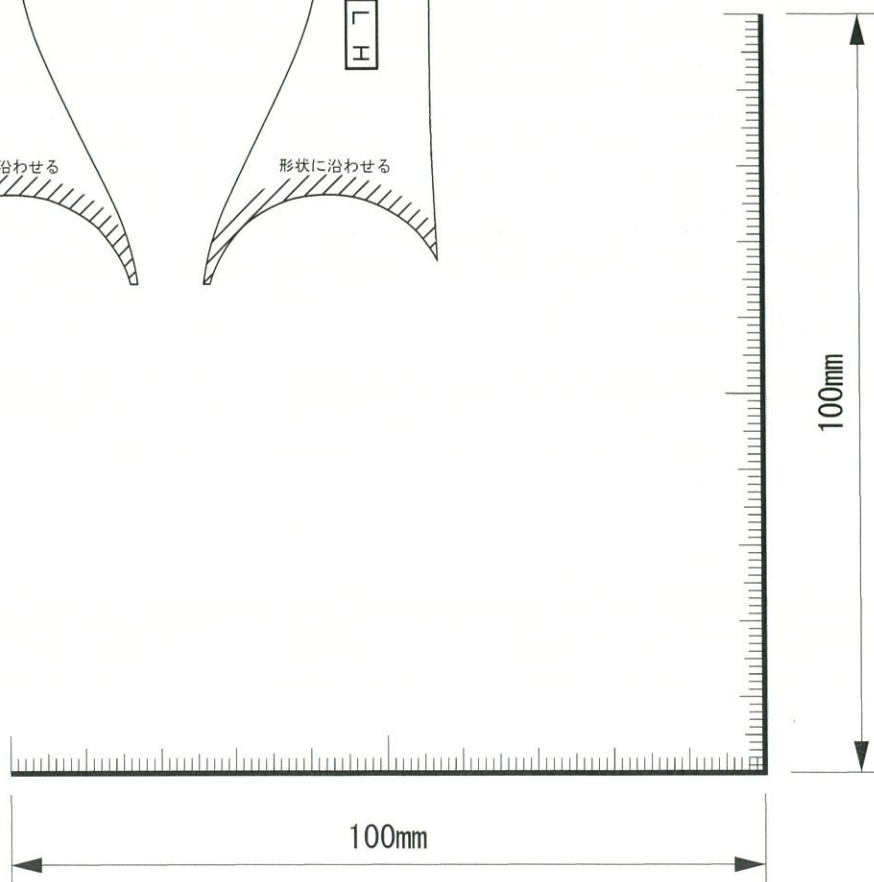
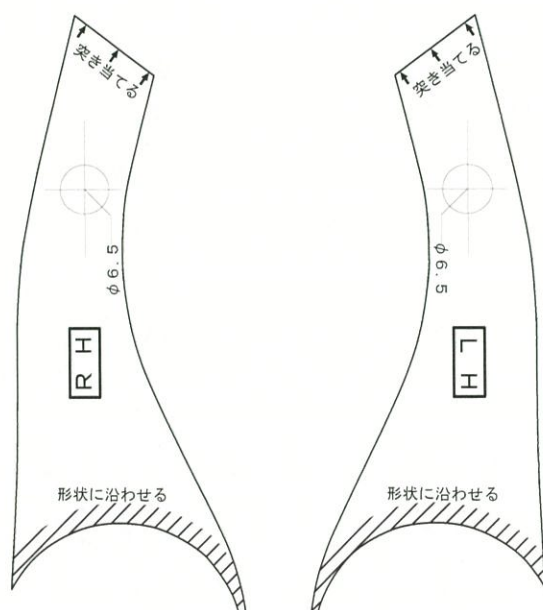


※ L 側も同様

- ⑰キャップボルト (F) を本締めし、リア ウイング各部の取付状態が完全か確認する。

84112-XMEB-KOSO リア ウイング 穴開け用型紙

〈注意〉型紙を切る際、刃物で怪我をしないように注意して作業を行うこと。



SCALE 1/1